

2024年度 事業計画書

2024年度方針

当財団の目的である男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する事業の円滑なる進展を図るため、国内外の動向を踏まえた最新の情報提供に努めるとともに、事業領域・内容の工夫、広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行する。

キャリア人財プラットフォームの資源となる人々の経験や知を核に、今後の女性のキャリア形成支援の充実、男女共同参画社会の形成に資するよう進めていく。また、財団のフロアも生かし、世代・分野を越えた対話の場を生み出し、財団の目的を推進していく。

I. 「公益目的事業」＜生涯学習の振興および活性化支援事業＞

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する研究調査

男女共同参画と災害・復興ネットワーク（代表：堂本暁子）と協働で事業を行うと共に、ホームページ上で防災・減災とジェンダーに関する情報を発信する。

(2) 女性の教育・学習活動史研究

「出発・再出発」をテーマとした「日本女性学習財団 未来大賞」レポート募集を行う。

2. 人財育成

(1) キャリア人財プラットフォーム事業

女性のエンパワーメントをめざし、生涯にわたるキャリアデザインを男女共同参画の視点で支援する「キャリア支援デザイナー」を養成するための講座を開催するほか、女性の生涯にわたるキャリア形成のための人と社会をつなぐ場である「キャリア人財プラットフォーム」の資源を生かし、学び合う場を創出していく。

(2) 男女共同参画の視点に立つ女性のキャリア形成支援者に関する研究

女性のエンパワーメントに向けて男女共同参画の視点から支援する「キャリア支援デザイナー」の経験や課題等を分析し、地域における男女共同参画の推進にも資するキャリア形成支援者向けプログラムを検討していく。

2024年度は、3年計画の3年目として、キャリア支援デザイナーへのアンケート調査をもとに、専門家やデザイナーへのヒアリングを行い、今後に必要なプログラムを検討していく。

(3) 子育て支援者育成・次世代育成講座

子育て支援、次世代育成に携わる人を対象に、ジェンダー視点を基軸に据えた講座を開催する。

3. 情報提供

(1) 月刊『We learn』発行

本誌は、男女共同参画の普及啓発のための専門誌として、ジェンダーの視点からの現代的課題を取り上げ、研究及び実践活動に関する情報を収集・提供している情報誌である。ジェンダー平等や女性のエンパワーメントに向けた情報提供に努めるほか、キャリア支援デザイナーをはじめ他事業と関連した情報発信を進める。

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

イラストを通して男女共同参画にまつわるさまざまな問題を提示する「なるほどジェンダー」パネル、「発見！ジェンダー」パネルを貸出する。「発見！ジェンダー」リーフレットの普及・活用した取り組みを工夫するとともに、男女共同参画を身近に学べる教材の普及活動に取り組む。

(3) 資料の整備・情報公開

① ホームページの充実

当財団の事業については、適宜、事業案内・報告を財団ホームページに掲載し、その内容を公開する。また、フェイスブックやインスタグラム、X等のSNSを用いて、タイムリーな情報提供に努める。

② Space We learn の活用

フロアやライブラリーを活用した「ぶっく・とーく」や「芝公園ラボ」の開催等、本や人を資源とした対話・学び合いの場を創出、女性のエンパワーメントに向けたネットワークも意識化して実施する。

4. 関係諸団体との連携支援

(1) 日本女子会館内外団体との連携

(特非) 全国女性会館協議会、Office We learn 登録団体など女子会館内団体との情報交換を行い、国際婦人年連絡会、(特非) 全国女性会館協議会、社会教育団体振興協議会等に参加して、全国的・国際的な活動に参加・参画するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行う。

また、生涯学習活動等、当財団と活動目的を共有する非営利法人に対して、継続して日本女子会館施設を低料金で提供することにより、当該法人の活動を側面的に支援する。

(2) 女性関連団体へのカンファレンスルーム「Space We learn」の提供

女性支援・生涯学習を目的とする法人や団体、財団のキャリア人財プラットフォームに関わる女性関連団体等に対して、「Space We learn」を周辺相場より安価で提供し、当該団体等の活動支援を図る。

(3) シェアオフィス・バーチャルオフィス「Office We learn」の運営

女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィス事業を引き続き推進する。2022年5月にリニューアルしたフロアの特性を生かし、会員相互のネットワークづくりに寄与することができる場としての機能を高めていく。

女性起業家や女性研究者に活動拠点を提供すると共に、「人財プラットフォーム」事業との融合を図り、会員相互の交流、情報交換の場としての機能を兼ね備えることで、スキルアップにも寄与することを目指す。

2024年度も引き続き、会員を増やすための広報を実施するとともに、会員相互の新たな関係性を構築できるような施策を推進していく。

II. 「収益事業」＜日本女子会館建物の賃貸事業＞

1. テナント入退去の状況

2023年2月1日以降全館満室となり、現在に至っている。

現時点でテナントからの退去予告はないが、引き続きテナントとのコミュニケーションをとりながら、テナントの動向及び日本女子会館管理運営上の改善課題等に関する情報収集を進めていく。

III. 日本女子会館の維持経営

1. 日本女子会館建物の維持管理

2022年5月に大規模改修工事が竣工し、2023年度より新たな長期修繕計画(10カ年計画)を策定し、これに基づき新たな資産取得資金積立を開始している。

当該計画以外に発生する経年劣化等に起因する改修・更新等について、これまでどおり着実に進めていく。